



私のいちおし本

「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」

著者 東田 直樹 著



選者：国見中学校 2年生 道中 苺花

私はこの本を読んで、自閉症の人がいつも思っていることや、行動することの意味がよく分かりました。以前までは、自閉症のこと、自閉症の人のことについて考えたことは、あまりありませんでした。

この本を読んで、自閉症の人も私たちと同じ考えをしていることが分かりました。そして、作者の東田直樹さんは、自閉症で良かったと語ってすごいなと思いました。

私は、これから自分のことだけでなく、周りのことも気にかけて生活していきたいです。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

{一般}

いのちの停車場

南 杏子 著

東京の救命救急センターで働いていた62歳の医師・咲和子は、故郷の金沢に戻り訪問医療医になり、現場での様々な涙や喜びを通して在宅医療を学んでいく。一方、家庭では、自宅で死を待つだけとなった父から安楽死を望まれ…。



{児童}

ママはかいぞく

カーヌ・シュリグ 作

ぼくのママは海賊。「カニなんてへっちゃら」号で宝の島を目指して旅をしている。旅から帰ってきたママはいつもとても疲れていただけ…。乳がんと闘うママを海賊になぞられ、治療に取り組む姿を伝えるユニークな絵本。



その他の新刊

{一般} 語らいサンドイッチ

谷 瑞恵 著

カケラ

湊 かなえ 著

{児童} じごくにアイス

ナカオマサトシ 作

けんけんぱっ

にご まりこ 作

【文化センター図書室】

{一般}

老いてこそ生き甲斐

石原 慎太郎 著

最晩年に達した今だからこそ実感する「老い」という現実とは。人生の成熟がもたらす最後の楽しみとは。古今東西の偉人たちの晩年のエピソードも交えながら、「老い」という人生の味わいを綴る。



{児童}

ひとはなくもの

みやの すみれ 作 やべ みつり 絵

すみれは、よく泣きます。悲しいとき、痛いとき、こわいとき、くやしいときに泣きます。すみれのお母さんは、泣く子は嫌いと言います。でも涙にはいろんな理由があるんだから、泣き虫の私をまるごと好きになって！と訴えます。



その他の新刊

{一般} 心にいつも猫をかかえて

村山 早紀 著

立花三将伝

赤神 諒 著

{児童} じごくにアイス

ナカオ マサトシ 作 澤野 秋文 絵

帰り道

有田 奈央文 羽尻 利門 絵